## 1、はじめに

- ・Pict(ピクト)は、株式会社アイネットが提供する画像補正ソフトです。
- ・Pictは画像の取込みを行うキャプチャ機能と、各種の補正を行う補正機能の組み合わせからなります。

## 2、仕様

- ・動作環境:Windows7、XP
- ・取扱種別:開発版(フリーソフト)
- ・開発版は、取込み画像を640×640に制限させていただいております。
- ・インストール方法:Vector様よりダウンロード
- ・アンインストール方法:ファイルの削除

### 3、使用許諾

・本製品の使用あるいは使用不能から、お客様に直接的または間接的な損害が生じた場合でも、弊社は、一切の責任を負いません。

#### 4、サポート

- ・お問い合わせ、サポートは、電子メールでお願いします。
- ・サポート内容は、純粋に本製品に関わる事柄とさせていただきます。
- info@iridology.co.jp

# Form

### 1、特徴

- ・画像を自由自在に変形させます。
- ・正方形だけではなく、長方形にも対応しています。
- ・真円だけではなく、楕円にも対応しています。
- ・矩形の大きさを自由に設定できます(開発版は640x640に制限)。
- ・反対の補正方法を適用することにより、基本的には元の画像に戻ります。
- ・変化過程を把握することができます。

## 2、基本機能

- ・端点の移動、曲率の変更により、変形させます。
- ・遠近法により、端点を移動させて変形させます。
- ・格子状の交点を移動して、部分的に変形させます。
- ・端点、中点の移動により、縦横方向に伸張させます。
- ・座標を回転させて変形させます。
- ・縦横方向に矩形、円形状に変形させます。
- ・縦横方向に矩形状に変形させます。

#### 3、画面構成

( L凸の補正画面 )



## 1、画像の引渡し

・Pictから補正画面へ、画像を引渡します(補正ツールボックスを使用します。)。



- 1、WP(Warp)・・・端点を編集し、全体を自由自在に変形させます。
- 2、PS(Perspective)・・・端点を編集し、直線的に変形させます。
- 3、TX(Texture)···格子状の交点を編集し、部分的に変形させます。
- 4、L凸(Lens凸)/L凹(Lens凹)・・・端辺を編集し、縦横方向に変形させます。
- ・L凸:操作した方向に伸張させます。
- ・L凹:操作した反対方向に伸張させます。
- 5、PL(Perspective)/RC(Rectangle)···座標を回転させて変形させます。
- ・PL:極座標を180°回転させます。
- RC:直交座標を360<sup>°</sup>回転させます。
- 6、SC(Square→Circle)/CS(Circle→Square)・・・矩形、円形状に変形させます。
  - ・SC:矩形から円形に変形させます。
- ・CS:円形から矩形に変形させます。
- 7、凸/凹・・・矩形状に縦横方向を変形させます。

## 2、ワープツール

- 2-1 端点の移動
  - A. 端点の赤四角を、ドラッグ&ドロップします。
    - \* 曲率が変わり、端点を中心に点で伸縮します。



- B. 端部の格子内を対角線で区切り、外側の図示部(赤三角内)を、ドラッグ&ドロップします。
- \* 曲率はそのままで、全体的に伸縮します。



#### 2-2 曲率の変更

- A. 端点からの延長上にある青丸をドラッグ&ドロップします。
  - \* 1辺ずつ変更できます。



- B. 端部の格子内を対角線で区切り、内側の図示部(赤三角内)を、ドラッグ&ドロップします。
  - \* 端点はそのままで、2辺の曲率を同時に変更できます。







# 3、遠近法ツール

・端点(赤四角)をドラッグ&ドロップして遠近感を出します。





## 4、テクスチャーツール

・ 格子の交点をドラッグ&ドロップして部分的な歪を除去、又は意図的に歪を発生させます。









## 5、レンズツール

5-1 パラメーターツールボックス ( L凸を選択した場合 )



- ・Mirror・・・チェックマークにより、対辺を対称的に伸張します。
- ・Compute/ReCompute・・・編集内容を実行します。
- ・Line・・・編集曲線を直線にします。(2点間の曲率を"0 "にします。
- Clear・・・編集内容を元に戻します。
- AllClear・・・実行内容を元に戻します。

5-2 L凸/L凹

- 1、端点、中点の赤四角をドラッグ&ドロップします。
- \* 一度に操作できるのは1辺のみです。
- \* 縦辺の移動は水平方向、横辺の移動は垂直方向のみです。
- 2、 " Compute/ReCompute "を選択します。

( L凸の場合 )



Mirror有 曲線に合わせて広がります ( 凸レンズ効果 )



Mirror無 右側に 半円状に広がります

( L凹の場合 )





Mirror有 曲線に合わせて縮まります ( 凹レンズ効果 )

( " Line "を選択した場合 )







L凸の場合 左右に直線的に





6-1 パラメーターツールボックス ( PLを選択した場合 )



・Angle・・・トラックバーを操作、又は、テキストボックスに数値入力して、位相をずらします。(0~360°) ・Dest Size・・・テキストボックスに数値を入力し、画像の縦横の大きさを変更します。(1~640ピクセル)

6-2 PL



6-3 RC











## 7、矩形・円形ツール

7-1 パラメーターツールボックス



- ・groupBox2・・・縦横、縦、横のいずれかをチェックマークにより選択します。
- ・groupBox3・・・均等、中央凸、端凸のいずれかをチェックマークにより選択します。
- ・Sigma・・・トラックバーを操作、又は、テキストボックスに数値入力して、変形の度合を調整します。(0~100%)
- ・Dest Size・・・テキストボックスに数値を入力し、画像の縦横の大きさを変更します。(1~640ピクセル)

7-2 SC







## 8、矩形・矩形ツール

8-1 パラメーターツールボックス



- ・groupBox2・・・縦横、縦、横のいずれかをチェックマークにより選択します。
- ・groupBox3・・・大、中、小のいずれかをチェックマークにより選択します。
- ・Sigma・・・トラックバーを操作、又は、テキストボックスに数値入力して、変形の度合を調整します。(0~100%)
- ・Dest Size・・・テキストボックスに数値を入力し、画像の縦横の大きさを変更します。(1~640ピクセル)

8-2 凸





## 9、補正内容の確認、決定



- 9-1 メニューバー、ツールボックスで補正内容を決定します。 ・確定(OK)・・・補正内容を確定します。
  - ・キャンセル(Cancel)・・・補正内容をキャンセルします。
  - ・ツール・・・ツールボックスの表示、非表示を選択します。
- 9-2 イメージタブで元画像と比較します。
  - InputImage・・・元画像を表示します。
  - OutputImage・・・補正画像を表示します。
- 9-3 ステータスバーで表示サイズを変更できます。
  - ・拡縮率・・・表示倍率を変更します。(現在対応しておりません)